

市民ネットワーカークポート 北広島議会リポート

発行 市民ネットワーク北海道

〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目15-1 サラサビル4F TEL 011-219-0112 FAX 011-219-0113 ●ホームページ <http://snetwork21.jp/>



★安全なエネルギー政策を

地震により電力需給のバランスが崩れ、北海道全域で停電(ブラックアウト)となりました。泊原発は停止中でしたが、一時外部電源はすべて失われ、使用済み燃料棒の冷却は非常用電源で行われていました。もし稼動中で震源地がもう少し近かつたら、福島の事故と同じことが起きた可能性を否定できません。自然エネルギーの活用など、私たちの生活に欠かせない電力について今一度考え、行動するなどが求められます。

一人暮らしや高齢者のみの世帯、障がいを持つ方など、災害時に支援の必要な方の安否確認や避難所への誘導には、身近な地域のネットワークが欠かせません。行政だけではなく、日頃から地域で防災対策を準備しておくことが、災害時の混乱を防ぎます。冬期間の災害も想定して、市内各地域での避難所や重度の要援護者が避難する福祉避難所の開設訓練を実施することが必要です。

★男女共同参画の観点で防災対策を

市内6カ所に開設された避難所には、一時は335名の市民が避難しました。広い体育館で安心して過ごすためには、プライバシーの確保が不可欠です。東日本大震災では、避難所運営に女性の意見が反映されにくく、多くの避難所で女性への配慮が十分に行われなかつたとの報告がありました。男女のニーズの違いに配慮した避難所マニュアルの作成や、運営に参画する女性防災リーダーの養成に取り組むべきです。

★地域のネットワークの強化を

9月、北広島市では、立て続けに台風と地震による大きな被害を受けました。震度5弱やブラックアウトなど想定外の災害に備えるには地域の力が重要です。



子育て世代包括支援センターについて

対象年齢は18歳までとし、学童期、思春期から成人期に向けた保健対策として、小中学校で「自分の大切さを学ぶ授業」を取り組むことに要望しました。

センター開設に向けて、市内の子どもたちや子育て家庭を見守るための活動団体や事業所から、意見やアイデアを聞く機会を持つべきです。

子育て世代包括支援における切れ目ない体制として、さまざまな団体が有機的につながるネットワークづくりが必要です。



▲一般質問を行った鶴谷さとみ

薬化物洗口について

「洗口を希望する、しない」を判断するための情報提供として、薬剤の添付文書等の写しを全家庭に配布するよう求めました。

他県では、子どもが洗口後に吐き気、頭痛、じんましんなどの不調を訴え、止めた事例が報告されています。子どもたちの体調の変化について、子ども自身や保護者の声を聞く機会を設けるべきです。

高齢になつても安心して住み続けるための支援を

一軒家を維持する事が困難となつた高齢者からは、利便性の高い駅前の介護住宅やサービス付き高齢者住宅についての問い合わせが増えています。十分な情報提供につとめ、安心して住み替えができる相談体制の充実を求めるべくしました。

プラスチックごみを減らす取り組みを

レジ袋やペットボトルなどから生じる微小なマイクロプラスチックは、海に流出し、食物連鎖に取り込まれている可能性が高いなど、世界中で深刻な問題となっています。

庁舎内の会議やイベントでペットボトルの使用を控えることや事業者への啓発など、市民とともに脱プラスチックに取り組むべきです。

特別支援教育の充実を

学習障がいなどで合理的配慮を受ける児童生徒が、特別規されることのないよう、周囲の理解を進めることが必要です。

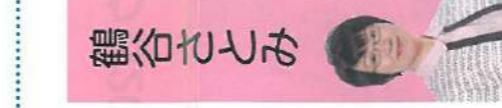
北の台小学校の通級教室「ムキタルーム」に通う児童は年々増加しています。教員の増員や場所の拡充など十分な指導体制を確保することを求めました。

2018年
9月

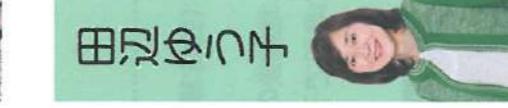
北広島市議会報告

一般質問

胆振東部地震の発生による災害救助法に基づく応急仮設住宅の供与に要する経費などが追加提案され、6億6190万円の一般会計補正予算を含む議案17件・同意案3件・意見書案2件を可決・同意。また、平成29年度各会計歳入歳出決算認定及び平成29年度水道事業会計剩余金処分及び決算認定は、決算審査特別委員会で認定・可決すべきものと決しました。



鶴谷さとみ



田辺ゆうこ

2018年
6月

市議会報告

一般質問

鶴谷さとみ

- 高校生世代までの子ども参加で、子どもが安心して過ごせる居場所づくりとまちづくり。
- 仕事と子育て・介護・不妊治療の両立支援の啓発推進、一般不妊治療費の助成拡大の検討を。

田辺ゆうこ

- 人・お金・資源を地域内で積極的に活用、雇用創出や地域活性化する循環型社会の推進。
- ボルバーグ周辺に新設されるアクセス道路は自然環境に配慮したものに。
- 持続可能な介護保険制度とするため、介護人材の確保や介護離職を減らす取り組みの強化。

2019年度予算編成に向けて
「こんな北広島に暮らしたい」政策提案を提出



(2018年10月25日 市庁舎にて)

市民ネットワークでは、新年度予算編成に向けて、毎年、政策提案を提出していますが、今年も上野市長と懇談し、直接手渡すことができました。「子どもへの暴力防止プログラム(CAP)を小学校のカリキュラムに導入すること」「学校や公共施設での香料自潔の配慮」「わかりやすい防災マニュアルや避難所マニュアルの配布」など重点項目6項目と福祉、教育、子育て、環境など8分野63項目の要望・提案をしました。